

射水市監査委員告示第8号

定例監査結果の公表について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定に基づき、射水市監査基準（令和2年射水市監査委員告示第6号）に準拠して令和6年7月に実施した射水市民病院（経営管理課、医事課）の定例監査の結果を同条第9項の規定により別紙のとおり公表する。

令和6年7月19日

射水市監査委員 村 上 欽 哉

射水市監査委員 折 橋 清 弘

射水市監査委員 中 川 一 夫

定例監査結果報告

第1 監査概要

1 監査の対象及び選定理由

(1) 監査対象

射水市民病院（経営管理課、医事課）

(2) 選定理由

射水市民病院の財務に関する事務、経営に係る事業の管理については、監査の実施頻度、金額的・質的重要性などから、次のとおり当年度の監査委員監査の対象とする。

| 監査方法 | 監査対象 | 前回の監査 |
|--------|-------|---------------------|
| 監査委員監査 | 経営管理課 | 令和5年6月30日～令和5年7月14日 |
| | 医事課 | （令和4年度執行分） |

2 監査目的と範囲

重要リスクに対する内部統制の整備状況及び運用状況等を監査し、その有効性を評価するとともに、令和5年度に執行した当該事務が関係法令及び規程等に準拠し、適正で効率的かつ効果的に行われているかを、証ひょう書類等の窓口、質問、関係書類の閲覧などの監査手続を通じて検証することを目的とする。

3 重要リスク及び監査の着眼点

監査の実施に当たり、重要リスク及び監査の着眼点を次のとおり設定した。

| 重要リスク | 監査の着眼点 |
|---------------------|---|
| (1) 必要性の乏しい支出をするリスク | ア 支出負担行為は予算執行計画及び予算配当に基づいているか。また、その額を超えていないか。 イ 不経済な支出及びその他不適当と認められる支出はないか。 ウ 事務処理が遅延したため、延滞利息を支払っているものはないか。 エ 消費税及び地方消費税の計算は適正に行われているか。 オ 議会の議決に付すべき事由による支出は適正にその手続きがなされているか。 カ 特に年度末において当面必要としない物品を購入していないか。 |
| (2) 契約が適法に履行されないリスク | ア 隨意契約による場合、その理由は適正か。 イ 隨意契約による場合は原則として2人以上の者から見積書を徴しているか。 また、例外的に1人の者から見積書を徴する |

| | |
|--|---|
| | 時は、その理由は適正か。 |
| | ウ 契約書、見積書等関係書類及び帳簿は確実かつ的確に整備されているか。 また、これらの内容は適正か。 |
| | エ 年間契約などの支払の時期設定は適切か。 |
| | オ 検査の実施時期に遅れはないか。 |

4 監査の実施内容

射水市民病院の財務に関する事務、経営に係る事業の管理について、主な着眼点ごとに、内部統制の整備状況及び運用状況について、証ひょう書類等の突合、質問、関係書類の閲覧などの方法により監査を実施した。

5 監査の期間

令和6年7月2日から令和6年7月16日まで

第2 事業の概要

1 事務又は事業の概要

(1) 経営管理課

経営管理課は、病院事業の予算及び決算に係る事務等を行っており、主として次のような事務が行われている。

- ① 病院事業会計の出納及び資金の運用に関すること。
- ② 病院職員の人事、給与及び服務に関すること。
- ③ 病院施設の維持管理に関すること。
- ④ 病院施設及び設備の整備に関すること。

(2) 医事課

医事課は、患者の受付及び入退院事務等を行っており、主として次のような事務が行われている。

- ① 患者の受付及び入退院事務に関すること
- ② 診療報酬の請求、集計及び整理に関すること。
- ③ 病歴管理に関すること。

第3 監査の結果

事務事業は概ね適正に行われていたものと認めるが、次の事項について措置又は検討されたい。なお、その他簡易な注意事項については、記述を省略した。

1 意見

(1) 令和5年度決算は3年ぶりに純損失となり、コロナ関連補助金の縮減や経費の増加などから自助努力だけでは賄えなかった状況の中、病院職員全員が一丸となって医業

収益の確保に努力されたことは評価できる。しかし、病床利用率が70%を下回る状況や外来患者の減少のほか、実質収支比率など各種経営指標も悪化してきている現状を直視したうえで、懸案である医師の確保に全力で取り組まれ、一般会計からの繰入についても当局としっかり交渉し、収益確保に努められたい。

(2) 院長のリーダーシップのもと、令和5年度に策定された経営強化プランを着実に実行され、病院職員全員が、これまで以上に危機意識を持って収支改善、病院改革に取り組まれたい。

(3) 情報セキュリティ対策の強化や窓口サービスの向上などにより、来院者の増加に繋がるようソフト面の充実に積極的に取り組まれたい。